



乗鞍岳



白山

白山ユネスコエコパーク
Mount Hakusan Biosphere Reserve

御嶽山



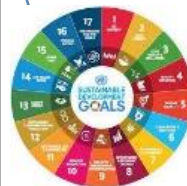
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of
UNESCO
Associate
Schools

ユネスコスクール加盟校

義務教育学校 荘川学舎(仮) になると何が変わるのか。



荘川小学校



荘川中学校



荘川保育園



1 これまでの取り組み

地域との協働・保小中一貫教育

2 義務教育学校 荘川学舎

何が変わるのか。何ができるのか。

3 今後の課題

何を懸念しているか。

1 これまでの取り組み

地域との協働・保小中一貫教育

地域との協働

「荘川っ子はぐくみ協議会」と「荘川の子を育む検討委員会」

コミュニティスクール

地域の願い

◇どんな子どもになってほしいか。

◇どんな大人になってほしいか

郷土愛、自立(律)心、学力
自己肯定感を上げる、道徳心を育む、etc・・・。

ソフト面

- ・どんな教育をするか
- ・どんな教育課程を組むか
- ・どんな学校にするか

ハード面

- ・どんなレイアウトにするか
- ・どんな校舎を建てるか
- ・どんな教室が必要か

「地域とともにある学校づくり」

「学校を核にしたまちづくり」

荘川保小中一貫教育

荘川小・中学校は白山ユネスコエコパークにあるユネスコスクール登録校です。

- ① 「確かな学力の育成」
- ② 「郷土教育の充実」
- ③ 「適応力の向上」



課題解決型学習



①「確かな学力の育成」

「確かな学力の育成に向けて、一貫性のある教育」
～教科専門性を活かした指導と、個を鍛える指導～

研究テーマの統一

たくましく学び続けようとする子どもの育成
～少人数のよさを活かしたダイナミックな授業の創造～

育てたい資質・能力の統一

主体的
対話的
深い学び

一人学び
仲間学び
達成感

一人でも
自分から
自信をもって

学びの最適化

個を大切にし、個を鍛える＝委ねて鍛える

理科の一人一実験では・・・。

例えば、電流計の読み取り

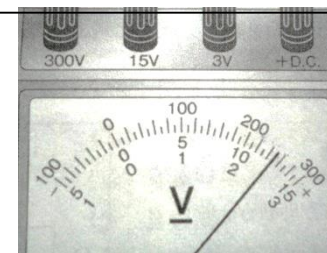
- ・体験の時間を増やすことが力を伸ばす。
- ・個々の生徒の技能面の把握がしやすい。
- ・しっかりみて適切な指導ができる。



一人一マイクロビット(小6理科)

問) 写真の計器の目盛りが図のようになった。
一端子が300V, 15V, 3Vのときのそれぞれ
について電圧の大きさを読み取りなさい。

300V=91.7% 15V=83.3 % 3V=75.0 %



→小テスト、単元テストの実験方法等の問題
が高い正答率である。

社会科の挙手なし授業では・・・。

- ・根拠をもとに発言するようになる。
- ・発言量が増え、自然と対話的になる。
- ・仲間の意見をたくさん聞くことで、深い学びが得られる。
- ・個が鍛えられていないと、発言できない。

→今年度、中3で主に仕組んだが、
誰もが**社会科が好きになり、学力
の伸び**も確認できている。



挙手せずに発言をつなぐ(小5社会)



②特色ある「郷土教育の充実」

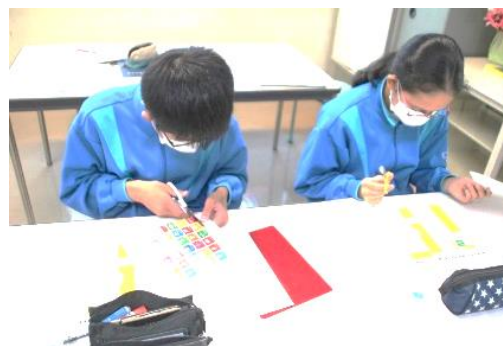
「ふるさとドリーマー」との絆
～地域すべてが学校 地域の人すべてが先生～

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



全校児童生徒

ESDによるSDGs推進について学ぶ





保育園・小学校・中学校

獅子舞

踊れるようになりたい！

地域の方

中3が小3へ

小学3年

保育園児

獅子舞は子どもたちの憧れ。未満児から年長児まで獅子舞の音楽で踊りだします。手作り獅子舞です。獅子舞を運動会や発表会で披露することもあります。これが小学校から中学校、そして、地域の大人へとつながります。

保～小～中 自然（荘川桜）を守る

地域の自然で遊びこむ



水没碑清掃



樹木医さんからの講話



桜の声を聴く



荘川桜とふれあう会



文化祭「荘川桜物語～嫩芽～」熱演

③「適応力の向上」 ～対応力と回復力を身に付ける～

「ひとりだちできる子」をめざした心の育成
～自尊感情の高まりと人間関係の醸成～

全校児童生徒

さくらタイム

さくらロング (学級活動に位置付け)

・SST(ソーシャルスキルトレーニング)
＝社会で人と人との関わりながら生きて
いくために欠かせないスキルを身に付け
る訓練

さくらショート (朝の会に位置付け)

・SGE(ストラクチャードグループエンカウンター)
＝集団体験を通して、本音と本音のふれあ
い(人間関係づくり)と自己発見を促し、人
間的な自己成長をねらう活動



上手な断り方



やさしい頼み方



上手な自己紹介の仕方



上手な聞き方・返し方

2 義務教育学校 荘川学舎

何が変わるのか。何ができるのか。

同じ敷地内に、保・小・中ができる
「保小中の教職員が連携・協働」

小・中の校舎が一緒になる
「教科担任制」

学習のつまずきを軽減できる
教科担任制により、専科に学べる。

異年齢での関わりが精神的な成長に繋がる
行事等の交流

部活動等と一緒に活動できる
「部活動等の系統性・連続性」

年次計画・教育課程を変えられる。
「義務教育の見通し」

学年の区切りを変えられる。
「リーダー育成」「スムーズな連結」

環境の変化からおきる「ギャップ」防止
「中1ギャップ」「小1ギャップ」
“途切れのない指導・支援”

莊川未来学(仮)の確立

～さらなる課題解決型学習～

幅広い知識をもち、様々な課題に立ち向かっていくたくましい人材

横断的・系統的・体系的・連続的な教育

- ◇持続可能な開発目標達成(SDGs)の推進
- ◇「ICT教育」(一人一タブレット＝新しい文房具)
- ◇「英語教育」グローバル社会への対応とインバウンド対応
- ◇「プログラミング教育」組立思考力と課題解決力
- ◇「未来の教室(個別の最適化)」個で学び方を選ぶ
- ◇「STEAM教育」(科学、技術、工学、芸術、数学)個の特技を伸ばす
- ◇高等学校・特別支援学校・大学等連携

郷土教育と新しい時代の教育＝新古が融合し活動する学校



3 今後の課題

何を懸念しているか

年次計画、教育課程

- ・義務教育学校とは異なる学校に転出入した子どものフォロー。
- ・どう年次計画、教育課程を編成すればよいか。
- ・6.3制、4.3.2制、4.5制か科学的根拠。
- ・保育園との連携(校舎と園舎、教育課程等)

教師の免許

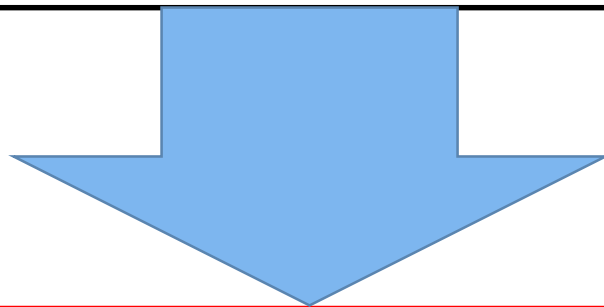
- ・小学校と中学校両方の免許をもった教員の配置
- ・小・中どちらも経験した教員の配置

部活動の地域クラブ化

- ・持続可能な部活動等にするためにどうすればよいか。

令和7年度からの開校

その前に進めておくこと



- 義務教育学校先進校への視察
- 教育課程編成のアドバイザー
(外部有識者)

荘川未来学を学ぶ荘川学舎の理念



桜花爛漫

飛翔若鷹



厳しい環境にも負けず、根を広げ、美しい花を
咲かせる荘川桜のように、
力強い翼と鋭い眼をもって大空を羽ばたく若鷹の
ように、深く広く根を張り、自分の花を咲かせ、
社会に力強く羽ばたく荘川の子



荘川

高山市立荘川保育園、荘川小学校、荘川中学校